

# みんなの家 ななくさだより NO15

2008年 9月28日

700-0056 岡山市西崎本町1-7

TEL&FAX 086-253-8988



## 08年ななくさ敬老会

9月11日に敬老会を催しました。

昼食ではお赤飯と天ぷらでお祝いしホームからは紅白饅頭を用意しました。午後からの楽しみ会では、ボランティアの長井さん達にきていただき腹話術とバイオリン演奏を披露してもらいました。腹話術では人形のけんちゃんを使って利用者の方々とお話ししてもらいました。本当に人形がしゃべっているように見えて「この子は何年生」などと人形のけんちゃんに真剣に話しかける利用者もいて笑いを誘っていました。



続いてのバイオリン演奏では、日頃ななくさで唄っている童謡や歌謡曲などを演奏していただき一緒に唄いました。バイオリンの伴奏のせい、いつもより大きな声で唄っておられました。また、唄える歌をリクエストしてバイオリンの伴奏で前に出て唄う利用者もおられました。「また腹話術見たいなあ」「バイオリン演奏よかったなあ」など感想が聞かれました。日頃見たことのないような笑顔が見られ、本当に楽しく交流ができた心なごお敬老会になりました。



## 小規模多機能ホームかおり見学

9/9日久町虫明にある「小規模多機能ホームかおり」の見学にスタッフ3人が行って来ました。このホームは虫明の裳掛（もかけ）地区、虫明港の側にあります。民家を改造したとてもアットホームな雰囲気の仕事所でした。世帯数800で人口2800人のこの地区は、65歳以上の高齢者が人口の半分を閉めています。バス停に行くにもタクシーが必要で診療所が1カ所、週に2回ドクターが来るだけです。ホームではスタッフが安否を確認するため毎日地域を巡回し、利用者マップを作り、消防、民生委員、地域住民と協力体制をとり安心安全に努めています。

何より「かおり」のスタッフの底抜けの明るさと前向きな介護への取り組みは見習うべき所があり地域住民を巻き込んだ運営は、おおいに参考になりました。考えてみれば介護という仕事は、せつなくて、やりきれない思いをする事が多いものです。ななくさでは、そんな思いを笑いや喜びに変えて笑顔を決やさない「前向きな介護」に取り組んでいこうと思います。

## 運営推進会議開催

9/16 第9回運営推進会議を開催しました。

中学校からは4月から新任の校長先生、小学校からは同じく4月からの新教頭先生が参加してくれました。会議では、現在の利用状況や6月からのななくさの取り組みについて報告を交えて忌憚のない意見交換が出来ました。石井サフセンターのソーシャルワーカーさんの話しでは、「石井中学校区での高齢化率は平均より高く、一人暮らしが多く寄せられる相談も複雑で簡単でないものが多い。」と相談活動の大変さを感じられました。利用者の御家族からは「日々の介護の中で人権について考えさせられる機会が多く、日常生活の中で試されていると感じる。自分がホームに助けて貰っていると思う分地域のお手伝いをしたい。地域での支え合いがとても大切だ。」と話されました。ななくさでは、運営推進会議を足がかりに地域のネットワーク作りをすすめたいと思います。